

'09年8月15日太郎坊観望会

by kuma

8月15日。

お盆休みを利用して富士山太郎坊にて有志による観望会を行いました。

実は今日の観望会、天気予報が良くなかったため会の行事としては中止になり、有志による観望会に切り替えたのですが、私が16時に現地入りした時点で既に4名が先着しており、最終的には16名もの方が集まりました。

久しぶりの星観のチャンスと言う事で皆さん気合十分でしたね。

入会希望の方も見学にいられていました。

今日は衝を迎えた木星に関するイベントが盛りだくさんで、彗星の衝突痕、イオの表面通過、大赤斑の出現などを狙う予定です。

早速機材を設置。手前が kitty ドブ、隣にはヤスさんの 18 インチドブ、奥にはアミーゴさんの Visac とコルキットが並んでいます。



Photo kuma



Photo kuma

イバラキさんの 10 cm 屈折双眼望遠鏡。

イバラキさんとは先日のバーベキュー以来です。

今日は夏の天の川狙いかな。

日も暮れて参加メンバーが次々と到着。予報通り雲の多い空です。

南中のさそり座から頭上の夏の大三角まで薄雲越しに見えていますが、まだ南西低い木星は雲に阻まれてその姿を現してくれません。

しばらくして雲間から木星が見えてきたのでキティードブで狙います。

先日のペルセ群の時と比べるとシンチレーションがやや下がるものの、二本の縞が色濃く見えています。

大赤斑は既に隠れていました。



Photo kuma



Photo kuma

ハセガワさんのいつもの FS128。
ニューマウントの説明をしているところかな。
三脚部とのジョイントの強化に苦労されたようで、色々と苦労話を伺いました。



Photo kuma

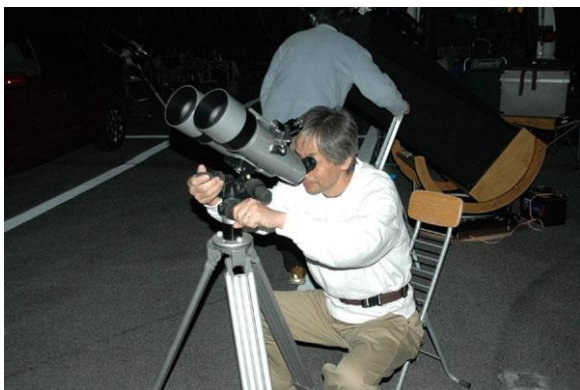


Photo kuma

久しぶりに登場の sekiya さんのミヤウチ BJ。
セミアポですが視野も広くて良く見えます。
彼は私と同じ町内に住む星仲間の子供同士が同級生の縁。丹星内にも顔馴染みが増えました。
翌日彼の自宅ルーフ内に収まるアストロフィジックス SFX175 で観た木星は凄まじいの一言でした。

遅れて登場のヒデアキさんの 4.25 インチ /F4 自作ニュートン「大吉」。筒はウォールナット材(胡桃)を用いての頑丈な造りが売りで、彼はこれを手持ちでも行けるお手軽さをコンセプトに製作されたとか。因みにウォールナットはフローリングなどによく用いられる素材です。



Photo kuma

一番最後に遅れてやってきた、五藤&ペンタコレクターの fukuda さん、今日もマーク X&Pentax105ED のコラボで登場です。ペンタックスが望遠鏡事業から撤退したため、今後ますますプレミアが付きそうな組み合わせだね。



Photo kuma

時々木星が姿を見せているのですが、彗星の衝突痕が見えているはずの時間帯はちょうど雲に隠れてしまう。夜半前には再び姿を見せたのでイオの表面通過の様子などを観るも、どうにもスッキリしない空。

天頂付近がそこそこ晴れていたなので、先日ドブ用に入手した新アイピースを装填します。

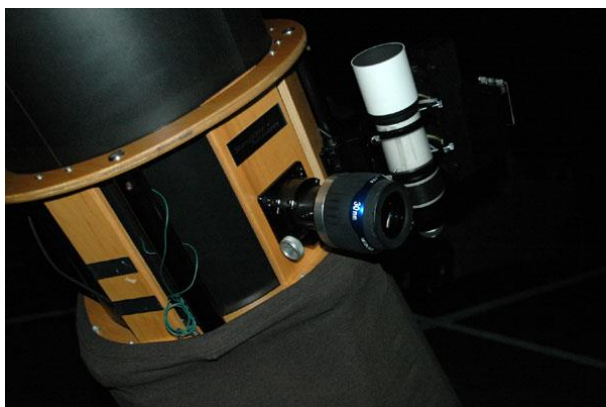


Photo kuma

Meade の UW30mm。見掛け視野は 80 度で明らかに Nagler Type 5-31 mm を意識したスペック。Meade のアイピースはよくプアマンズナグラと揶揄されますが、サイドバイサイドで見比べると周辺像でその差が判るものの中心像はそれほど悪くはありません。実売価格は下手すると Nagler の半値以下で入手可能なので、考え方によってはお買い得とも言えそうです。



Photo kuma

UW30 mmと Nagler-Type5-31 mmを並べてみました。UWはなんとあの Type5 よりもデカイ。両方手に取ってみるとどうやら UW30 mmの方が重いぞ。

低空を狙うとバランスが狂ってドブがお辞儀をしまいます。💣

Type5 の愛称「毒キノコ」に対抗して「毒リンゴ」と呼んであげます。

残念なことに夜半を過ぎてますます雲量が増え快曇となってしまいました。

翌日の予定もあったので今日はこれまでと見切りを付けて撤収。

明け方 3 時頃に現地を後にしました。

来週も月齢が良いので再びリベンジにやってくる予定です。

そのためにも何とか晴れてくれよ～

了